

**QA 掲載限定版  
お施主様 / 工事業者様 向け  
取扱説明書**

スマートコントロールキー  
**操作盤付インターフェースユニット  
増設操作盤**

《お願い》

YKK AP 商品を長く安全にお使いいただくために、  
ご使用前によくお読みいただき、大切に保管ください。

販売店・工務店・建築会社の皆様へ  
この取扱説明書は施工後、お施主様へ必ずお渡しください。

このたびは YKK AP 商品をお買い上げいただきありがとうございます。

本書は、商品の取り扱いに関する必要事項を説明しています。  
商品を安全に長くお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください。  
商品によっては、本書に掲載されていない場合がありますので、  
当社ホームページの情報も併せてご利用ください。

## ■YKK AP 株式会社 ホームページ

<http://www.ykkap.co.jp>

## ■お客様 サポート

YKK AP へのお問い合わせや商品の使い方、お手入れなどを紹介しています。  
<http://www.ykkap.co.jp/support/>

## ■安全・安心、快適のポイント

日常生活の中で注意していただきたいポイントを紹介しています。  
<http://www.ykkap.co.jp/support/safety/>

## ■使い方&お手入れガイド

YKK AP 商品の取り扱い情報を幅広く紹介しています。  
<http://www.ykkap.co.jp/support/care/>

## ■WEB カタログ




当社の商品カタログ、ユーザーマニュアル（ガイドブック）を紹介しています。  
<http://webcatalog.ykkap.co.jp>

# 本書の読み方

## 本書内の表示

本書内では、下記の表示を用いて、人身事故や損害を未然に防ぐために守っていただきたい内容を示しています。内容を十分ご理解のうえ、表示内容を守って商品をご使用ください。

### ■危険／警告／注意／お願い



表示	意味
 <b>危険</b>	製品の取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（※1）を負うことがあり、かつその切迫の度合いが高いと想定される。
 <b>警告</b>	製品の取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（※1）を負うことが想定される。
 <b>注意</b>	製品の取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷（※2）を負うかまたは物的損害（※3）が生じることが想定される。
<b>お願い</b>	製品の取り扱いを誤った場合、人身への危害と財産への損害には至らないが、製品自体の損傷や不具合が生じると思われる場合や、操作・使用・お手入れ方法などの注意喚起情報。

（※1）重傷とは、けが、やけど、感電、骨折、中毒などで、身体機能に欠損および／または後遺障害が生じる傷害、または前記に至らないまでも30日以上の加療を要する傷害をいう。

（※2）軽傷とは重傷に至らない傷害をいう。

（※3）物的損害とは、家屋・家財およびペット等にかかわる拡大損害をいう。製品自体の破損は含まない。物的損害の程度は、(財)日本科学技術連盟が開発したリスクマップ(R-Map)の「危害の程度」に準じる。

### ■記号

記号	意味
 [強制]	「必ず行っていただきたいこと」を示します。
 [禁止]	「行ってはいけないこと」を示します。

本書の読み方	P.1
もくじ	P.2
安全にお使いいただくために	P.3
ご使用になる前に	P.4
各部の名称	P.4
操作盤付インターフェースユニット・増設操作盤の使い方	P.5
解錠方法	P.5
施錠方法	P.5
お手入れ	P.6
機器設定について	P.7
機器の登録・設定一覧	P.7
機器仕様（モデルNo.）の確認方法	P.8
全仕様共通の設定	P.9
操作盤付インターフェースユニット、増設操作盤の登録	P.9
動作確認音の有効／無効設定	P.12
HA 機器 1 の有効／無効設定	P.14
HA 機器 1 の解錠可能設定	P.16
マルチ仕様（CN-71）、戸締り安心システム仕様（CN-74）のみの設定	P.18
HA 機器 2 の有効／無効設定	P.18
HA 機器 2 の解錠可能設定	P.21
電気錠コントローラの有効／無効設定	P.23
警備システム連動機能の有効／無効設定と警備用電子キーの登録	P.25
全解錠操作での警備解除設定	P.31
電子キー、警備用電子キーでの警備セット	P.32
警備解除	P.37
故障かなと思ったら	P.38
商品の保証について	P.39

# 安全にお使いいただくために

## 安全上のご注意

### ⚠ 警告



[禁止]

電装部品の分解、改造は行わないでください。漏電による火災や感電など、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

### ⚠ 注意



[禁止]

商品、部品の改造は行わないでください。性能に影響を及ぼし、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

### お願い

引き渡し前に必ず、取扱説明書(設定マニュアル)を参照し登録操作を行ってください。登録操作をしないと動作確認を行うことができません。

動作確認を怠ると、商品の故障や動作不良につながるおそれがあります。

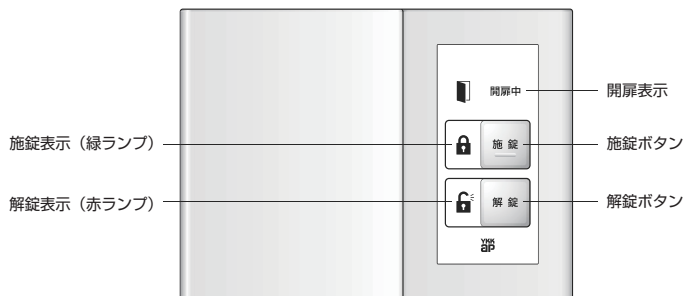
# ご使用になる前に

## ご使用前に確認してください

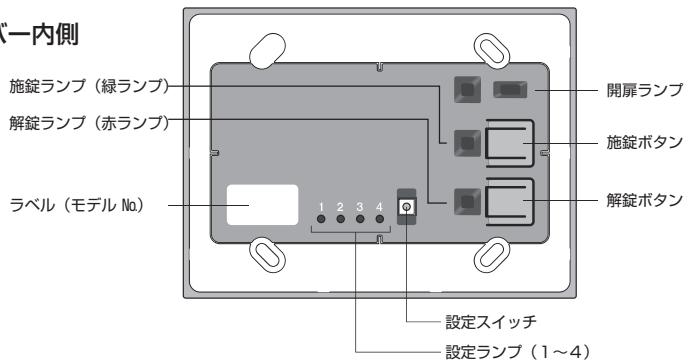
- 必ず、P.3「安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

## ■ 各部の名称

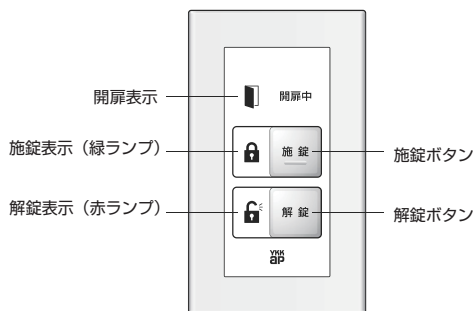
### 操作盤付インターフェースユニット



### カバー内側



### 増設操作盤



# 操作盤付インターフェースユニット・増設操作盤の使い方

## ご使用前に確認してください

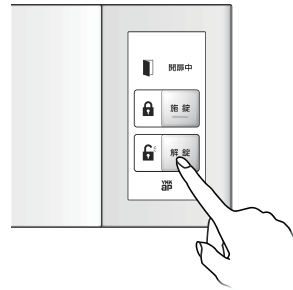
- 必ず、P.3「安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

## ■ 解錠方法

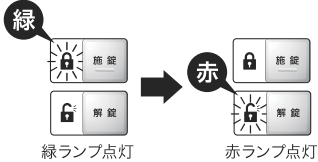
### 1 操作盤付インターフェースユニット・増設操作盤の「解錠」ボタンを押す

※操作盤付インターフェースユニットの図で説明しています。増設操作盤の場合も同じです。

※ドアの状態に関係なく解錠します。



### 2 施解錠の表示が解錠（赤ランプ）に切り替わったことを確認する



緑ランプ点灯

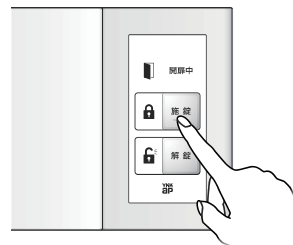
赤ランプ点灯

## ■ 施錠方法

### 1 操作盤付インターフェースユニット・増設操作盤の「施錠」ボタンを押す

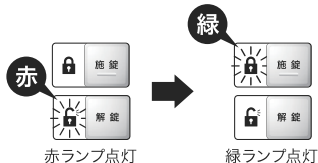
※操作盤付インターフェースユニットの図で説明しています。増設操作盤の場合も同じです。

※ドアが開いていると施錠操作は出来ません。



### 2 施解錠の表示が施錠（緑ランプ）に切り替わったことを確認する

※施錠/解錠操作ができない時は、操作盤付インターフェースユニット・増設操作盤の登録を行ってください。(⇒P.9)



赤ランプ点灯

緑ランプ点灯

# お手入れ

## お手入れ時の注意事項

商品を長くお使いいただくため、本書に従ってこまめにお手入れを行ってください。お手入れせずに放置すると、表面に付着した汚れが、しみや腐食の原因となり、他の不具合につながる場合があります。特に海岸地域や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスの影響により、しみや腐食が進みやすくなります。また不具合が生じた場合、ご自身で調整等はせず、お取り扱いの建築業者、工務店、販売店、または当社お客様相談室に修理を依頼してください。

### お願い

#### 【薬品への配慮】

お手入れの際、有機溶剤（シンナー、ベンジン、アセトンなど）を使用しないでください。有機溶剤が付着すると、ひび割れやはがれなどが発生するおそれがあります。

お手入れの際、塩素系薬品（次亜塩素酸ナトリウムを含む漂白剤・カビ取り剤など）やエチルアルコールを使用しないでください。表面に付着すると、変色するおそれがあります。付着した場合は、すみやかに洗い落としてください。



#### 【キズへの配慮】

たわしや金属たわしなどは、絶対に使用しないでください。商品にキズがつくおそれがあります。

布やスポンジに砂などが付着したままふき掃除をしないでください。商品にキズがつくおそれがあります。

#### 【電動商品】

お手入れの際、電装部に水がかからないようご注意ください。水がかかると、故障するおそれがあります。電装部に不具合が生じた場合は、まずお取り扱いの建築業者、工務店、販売店、またはお客様相談室にご相談ください。

#### 【アルミ製商品】

表面に汚れがついた場合は、早めに洗い落としてください。汚れがついたまま放置すると、しみ、腐食、色落ちするおそれがあります。



# 機器設定について

## ■ 機器の登録・設定一覧

操作盤付インターフェースユニット、増設操作盤、インターホンなどHA (JEM-A) 機器から、施錠／解錠操作を行う場合や、その他の機能を利用する場合は、操作盤付インターフェースユニットにて登録・設定を行ってください。

### 全仕様共通

登録・設定	説明	工場出荷時の設定
操作盤付インターフェースユニット、増設操作盤の登録 ⇒ P.9	操作盤付インターフェースユニット、増設操作盤から、玄関ドアの錠を施解錠出来るようにするための登録	—
動作確認音の設定 ⇒ P.12	施解錠時と警備設定時のハンドルからの確認音の有効／無効設定	有効
HA 機器 1 の有効／無効設定 ⇒ P.14	HA 機器 1 に接続したインターホンなど HA (JEM-A) 機器から、玄関ドアの錠を施解錠出来るようにするための設定	有効
HA 機器 1 の解錠可能設定 ⇒ P.16	HA 機器 1 に接続した機器から、玄関ドアの錠を解錠可能にする設定	有効

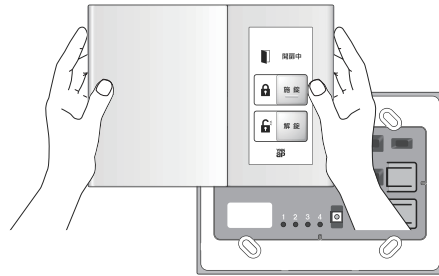
### マルチ仕様 (モデルNo. : CN-71)

### 戸締り安心システム仕様 (モデルNo. : CN-74) のみ

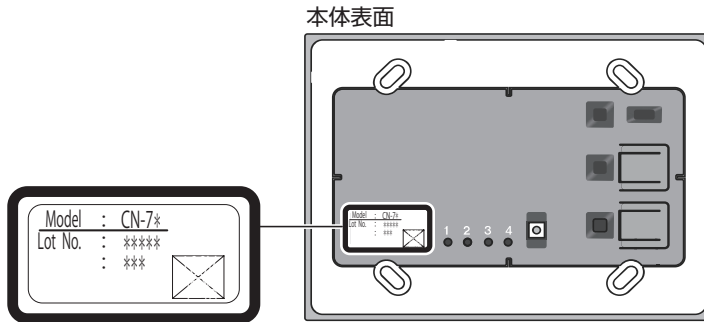
登録・設定	説明	工場出荷時の設定
HA 機器 2 の有効／無効設定 ⇒ P.18	HA 機器 2 に接続したインターホンなど HA (JEM-A) 機器から、玄関ドアの錠を施解錠出来るようにするための設定	無効
HA 機器 2 の解錠可能設定 ⇒ P.21	HA 機器 2 に接続した機器から、玄関ドアの錠を解錠可能にする設定	無効
電気錠コントローラの有効／無効設定 ⇒ P.23	電気錠コントローラから、玄関ドアの錠を施解錠出来るようにするための設定	有効
警備システム連動機能の有効／無効設定 ⇒ P.25	警備会社の警備システムを導入している場合、施錠／解錠操作と同時に警備会社の警備システムをセット・解除できるようにするための設定	無効
全解錠操作での警備解除設定 ⇒ P.31	電子キーの解錠操作に加えて、他の電氣的な解錠操作や手動での解錠操作で警備解除する設定	無効

# ■ 機器仕様（モデルNo.）の確認方法

## 1 操作盤付インターフェースユニットのカバーをはずす



## 2 本体表面のラベルに記載されたモデルNo.を確認する



モデルNo.	仕様名
CN-70	ライト仕様
CN-71	マルチ仕様
CN-74	戸締り安心システム仕様

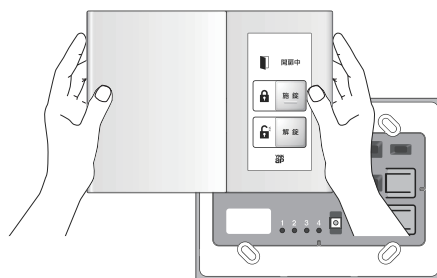
# 全仕様共通の設定

## ■ 操作盤付インターフェースユニット、増設操作盤の登録

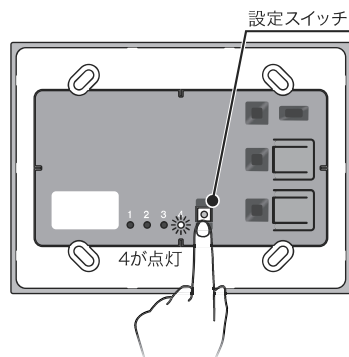
操作盤付インターフェースユニット・増設操作盤から玄関ドアの錠を施錠・解錠することができます。  
この機能を使うには、操作盤付インターフェースユニット・増設操作盤を登録する必要があります。

### 1 解錠状態にして、ドアを開ける

### 2 操作盤付インターフェースユニット のカバーをはずす



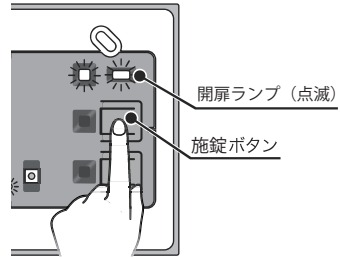
### 3 設定スイッチを、5秒押し続ける 設定ランプ4が点灯します



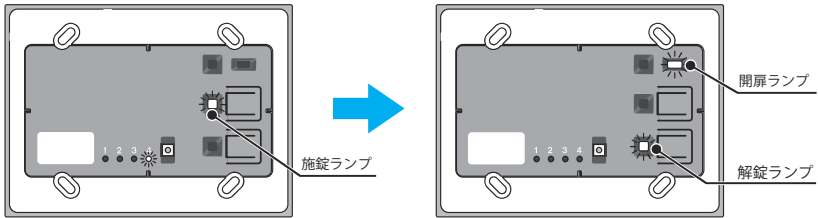
## 4 操作盤付インターフェースユニットの施錠ボタンを押す

開扉ランプが点滅します

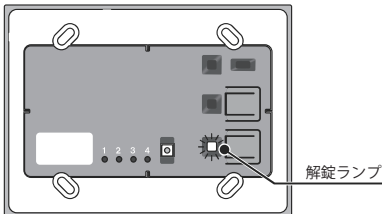
- 増設操作盤が接続されている場合、登録が出来た順に増設操作盤の施錠、解錠ランプが点灯します。



## 5 施錠ランプ (緑) が3秒点灯後、設定ランプが消灯します。その後解錠ランプ (赤) / 扉開ランプが点灯することを確認する

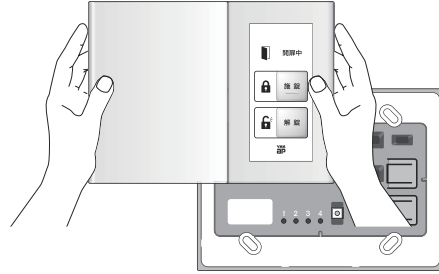


- 登録失敗の場合、解錠ランプ (赤) が点灯します。

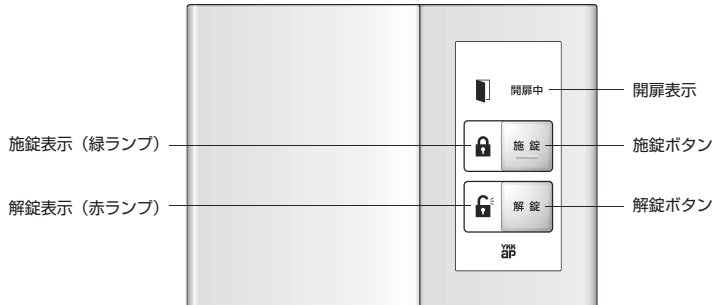


- ドアが施錠状態または扉が閉じている場合、登録失敗になります。
- ドアが解錠状態で扉が開いていることを確認してから、手順4からやり直してください

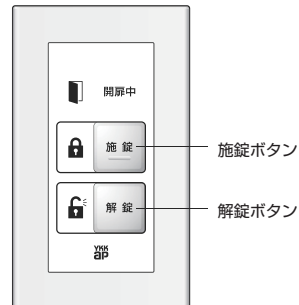
## 6 ドアを閉め、操作盤付インターフェースユニットのカバーを取り付ける



## 7 操作盤付インターフェースユニットの施錠ボタン、解錠ボタンを押して、正しく動作するか確認する



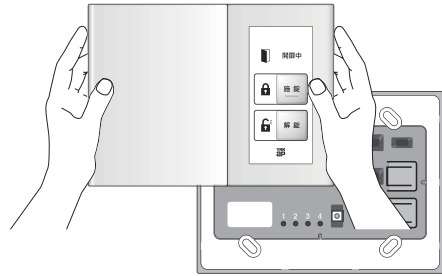
- 増設操作盤が接続されている場合は、増設操作盤でも正しく動作するか確認してください。



## ■ 動作確認音の有効／無効設定

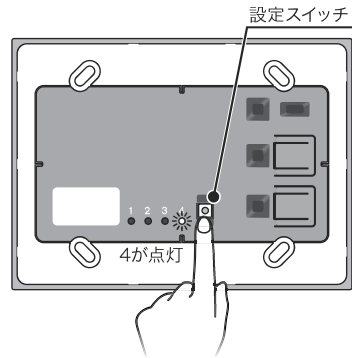
施錠時と警備設定時にハンドルから確認音が鳴ります。  
確認音の有効／無効を設定することができます。

### 1 操作盤付インターフェースユニットのカバーをはずす



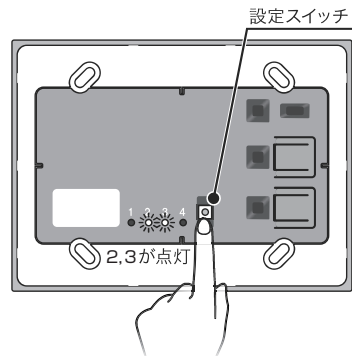
### 2 設定スイッチを 5 秒押し続ける

設定ランプ4が点灯します



### 3 設定スイッチを、5 回押す

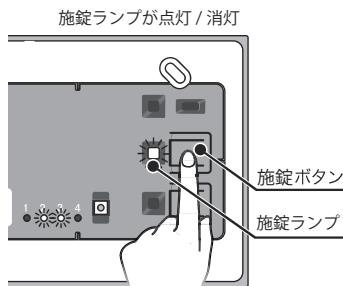
設定ランプ2、3が点灯します



## 4 操作盤付インターフェースユニットの施錠ボタンを押す

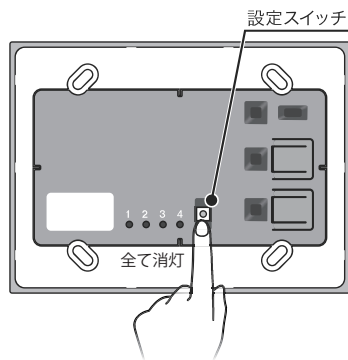
施錠ボタンを押す毎に、施錠ランプが点灯／消灯を繰り返します

- 有効にする場合  
施錠ランプを点灯させます
- 無効にする場合  
施錠ランプを消灯させます



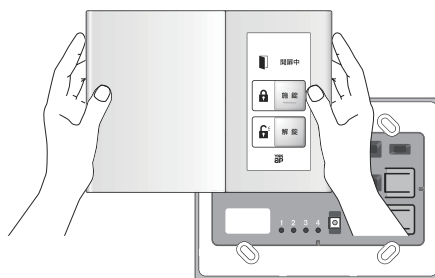
## 5 設定スイッチを8回押す

設定ランプが全て消えます。



## 6 電子キーを使い、動作確認音が設定されているか確認する

## 7 操作盤付インターフェースユニットのカバーを取り付ける

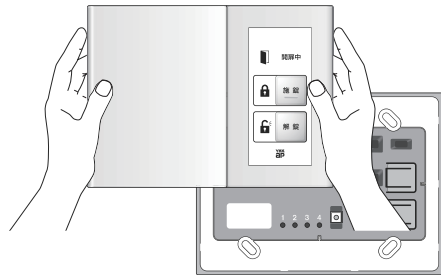


# ■ HA 機器 1 の有効／無効設定

HA 機器1 に接続されたインターホンなどのHA (JEM-A) 機器からの施錠 / 解錠操作を有効 / 無効にする設定です。  
HA 機器1 から施錠 / 解錠操作を行いたい場合は、有効に設定してください。  
無効に設定すると、HA 機器1 からの施錠 / 解錠操作はできなくなります。(工場出荷時は「有効」)

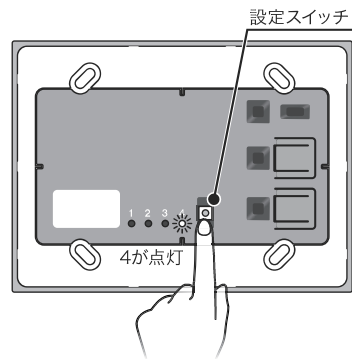
- HA (JEM-A) 機器からの施錠 / 解錠方法は、機器の取扱説明書を参照してください。
- HA (JEM-A) 機器との配線が必要になります。配線がないと設定しても機能しませんので、ご注意ください。

## 1 操作盤付インターフェースユニットのカバーをはずす



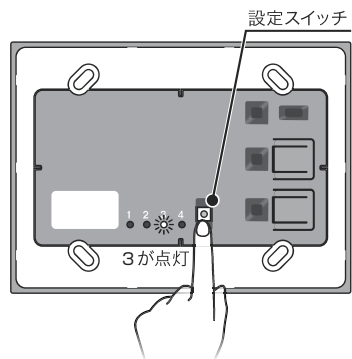
## 2 設定スイッチを、5秒押し続ける

設定ランプ4が点灯します



## 3 設定スイッチを1回押す

設定ランプ3が点灯します

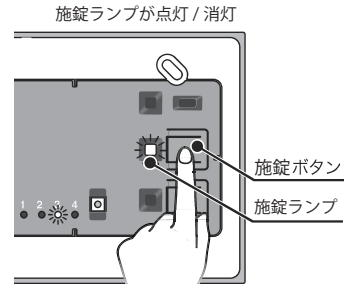




## 4 操作盤付インターフェースユニットの施錠ボタンを押す

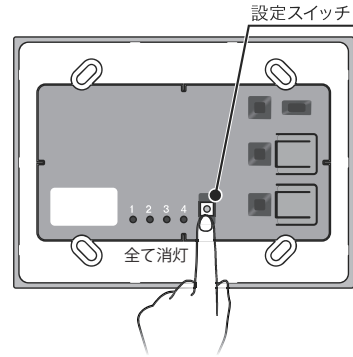
施錠ボタンを押す毎に、施錠ランプが点灯／消灯を繰り返します

- 有効にする場合  
施錠ランプを点灯させます
- 無効にする場合  
施錠ランプを消灯させます

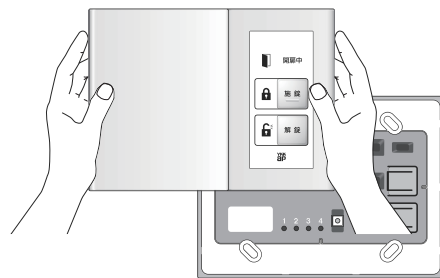


## 5 設定スイッチを12回押す

設定ランプが全て消えます。



## 6 操作盤付インターフェースユニットのカバーを取り付ける



## 7 HA 機器1で正しく動作するか確認する

HA 機器1の操作は、HA 機器1の取扱説明書を参照してください。

## ■ HA 機器 1 の解錠可能設定

HA 機器1 に接続されたインターホンなどのHA (JEM-A) 機器からの解錠操作を有効/ 無効にする設定です。  
HA 機器1 から解錠操作を行いたい場合は、有効に設定してください。  
無効に設定すると、HA 機器1 からの解錠操作はできなくなります。(施錠操作は可)(工場出荷時は「有効」)

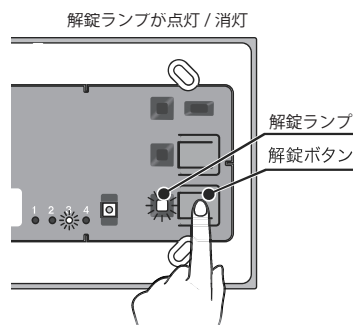
- HA (JEM-A) 機器からの施錠/ 解錠方法は、機器の取扱説明書を参照してください。
- HA (JEM-A) 機器との配線が必要になります。配線がないと設定しても機能しませんので、ご注意ください。

### 1 「HA 機器1 有効/ 無効設定」の ③まで操作する

### 2 操作盤付インターフェイスユニット の解錠ボタンを押す

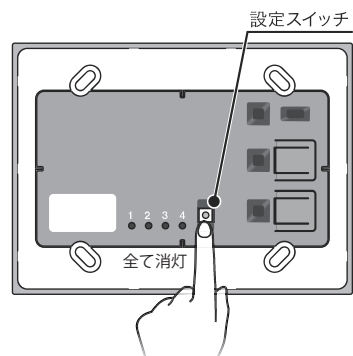
解錠ボタンを押す毎に、施錠ランプが点灯/ 消灯を繰り返します

- 有効にする場合  
解錠ランプを点灯させます
- 無効にする場合  
解錠ランプを消灯させます

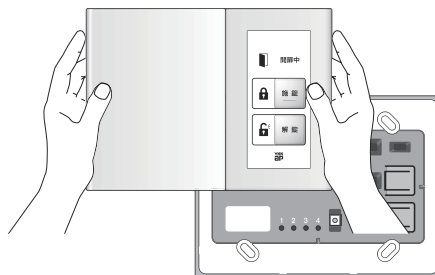


### 3 設定スイッチを12回押す

設定ランプが全て消えます。



## 4 操作盤付インターフェースユニット のカバーを取り付ける



## 5 HA 機器1で正しく動作するか確認 する

HA 機器1の操作は、HA 機器1の取扱説明書を  
参照してください。

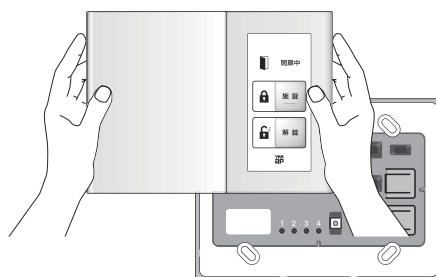
# マルチ仕様 (CN-71)、戸締り安心システム仕様 (CN-74) のみの設定

## ■ HA 機器2の有効／無効設定

HA 機器2 に接続されたインターホンなどのHA (JEM-A)機器からの解錠操作を有効/無効にする設定です。HA 機器2 から解錠操作を行いたい場合は、有効に設定してください。無効に設定すると、HA 機器2 からの施錠/解錠操作はできなくなります。(施錠操作は可)(工場出荷時は「有効」)

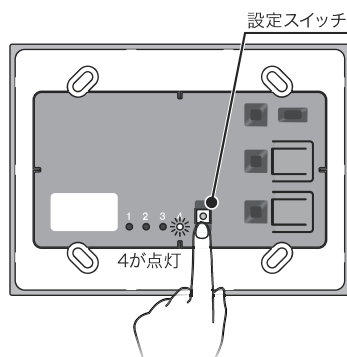
- HA (JEM-A)機器からの施錠/解錠方法は、機器の取扱説明書を参照してください。
- HA (JEM-A)機器との配線が必要になります。配線がないと設定しても機能しませんので、ご注意ください。

### 1 操作盤付インターフェイスユニットのカバーをはずす



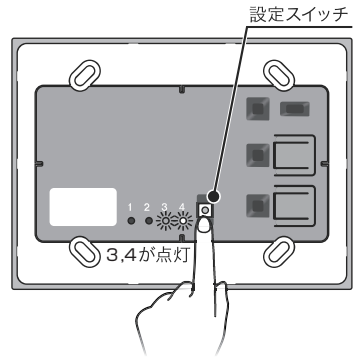
### 2 設定スイッチを、5秒押し続ける

設定ランプ4が点灯します



### 3 設定スイッチを2回押す

設定ランプ3、4が点灯します

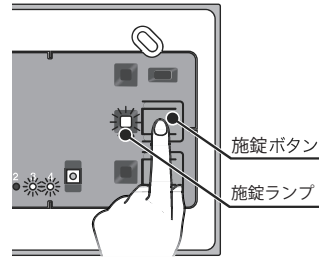


### 4 操作盤付インターフェイスユニットの施錠ボタンを押す

施錠ボタンを押す毎に、施錠ランプが点灯／消灯を繰り返します

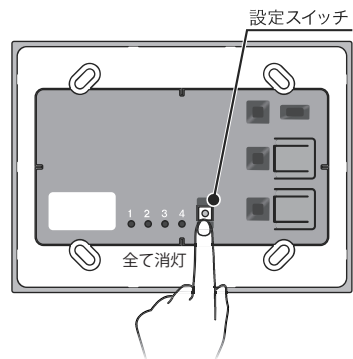
施錠ランプが点灯／消灯

- 有効にする場合  
施錠ランプを点灯させます
- 無効にする場合  
施錠ランプを消灯させます

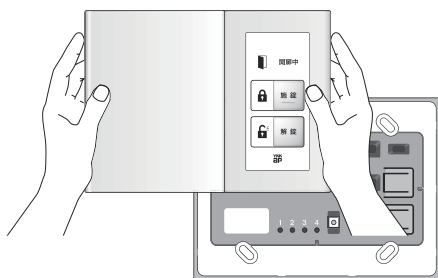


### 5 設定スイッチを11回押す

設定ランプが全て消えます。



## 6 操作盤付インターフェイスユニット のカバーを取り付ける



## 7 HA 機器2で正しく動作するか確認する

HA 機器2の操作は、HA 機器2の取扱説明書を参照してください。

# ■ HA 機器2の解錠可能設定

HA 機器2 に接続されたインターホンなどのHA (JEM-A)機器からの解錠操作を有効/無効にする設定です。  
 HA 機器2 から解錠操作を行いたい場合は、有効に設定してください。  
 無効に設定すると、HA 機器2 からの解錠操作はできなくなります。(施錠操作は可)(工場出荷時は「有効」)

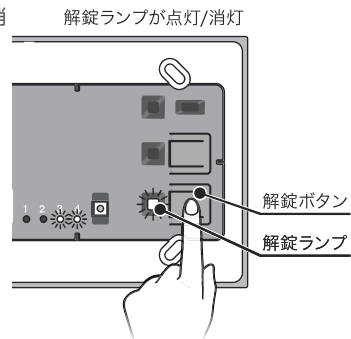
- HA (JEM-A)機器からの施錠/解錠方法は、機器の取扱説明書を参照してください。
- HA (JEM-A)機器との配線が必要になります。配線がないと設定しても機能しませんので、ご注意ください。

## 1 「HA 機器2有効/無効設定」の ③まで操作する

## 2 操作盤付インターフェースユニット の解錠ボタンを押す

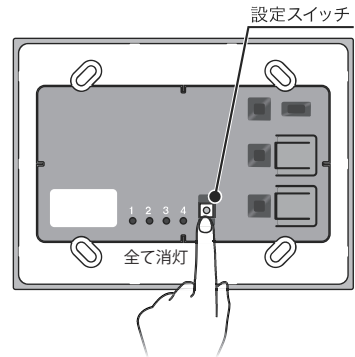
解錠ボタンを押す毎に、施錠ランプが点灯/消灯を繰り返します

- 有効にする場合  
解錠ランプを点灯させます
- 無効にする場合  
解錠ランプを消灯させます

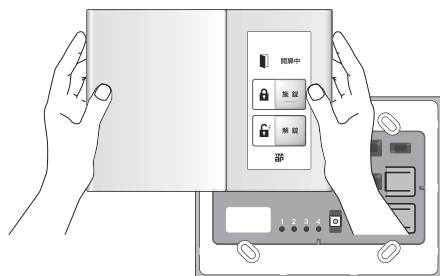


## 3 設定スイッチを11回押す

設定ランプが全て消えます。



## 4 操作盤付インターフェースユニットのカバーを取り付ける



## 5 HA 機器2で正しく動作するか確認する

HA 機器2の操作は、HA 機器2の取扱説明書を参照してください。

---

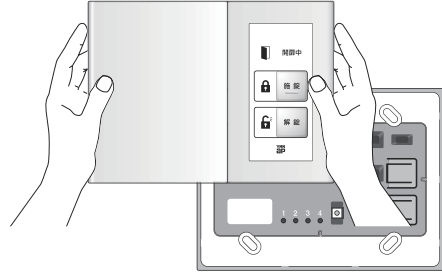


## ■ 電気錠コントローラの有効／無効設定

2 線変換アダプタに接続された電気錠コントローラなどからの施錠／解錠操作を有効／無効にする設定です。電気錠コントローラから施錠／解錠操作を行いたい場合は、有効に設定してください。無効に設定すると、電気錠コントローラからの施錠／解錠操作はできなくなります。(工場出荷時は「有効」)

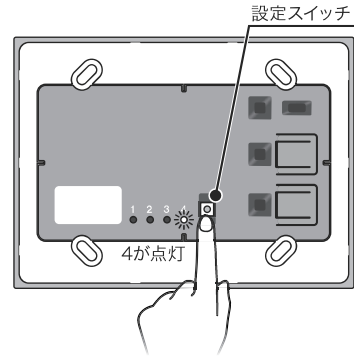
- 電気錠操コントローラからの施錠／解錠方法は、機器の取扱説明書を参照してください。
- 電気錠コントローラとの配線が必要になります。配線がないと設定しても機能しませんので、ご注意ください。

### 1 操作盤付インターフェースユニットのカバーをはずす



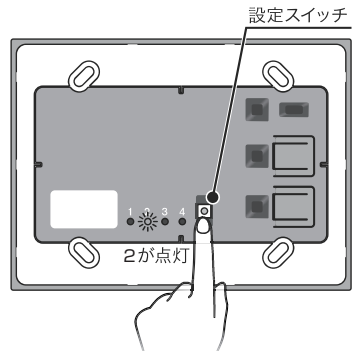
### 2 設定スイッチを、5秒押し続ける

設定ランプ4が点灯します



### 3 設定スイッチを3回押す

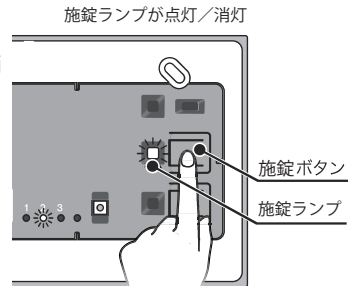
設定ランプ2が点灯します



## 4 操作盤付インターフェースユニットの施錠ボタンを押す

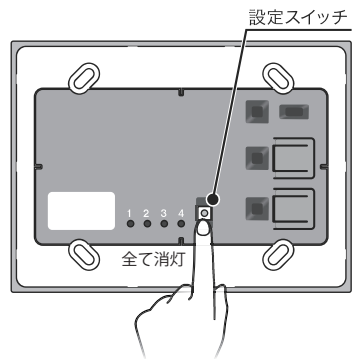
施錠ボタンを押す毎に、施錠ランプが点灯／消灯を繰り返します

- 有効にする場合  
施錠ランプを点灯させます
- 無効にする場合  
施錠ランプを消灯させます

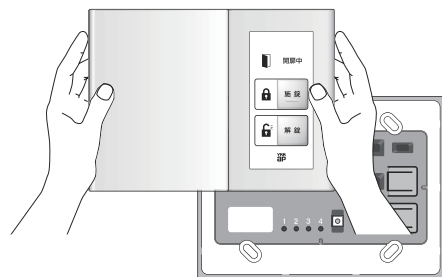


## 5 設定スイッチを10回押す

設定ランプが全て消えます。



## 6 操作盤付インターフェースユニットのカバーを取り付ける



## 7 電気錠コントローラで正しく動作するか確認する

電気錠コントローラの操作は、電気錠コントローラの取扱説明書を参照してください。

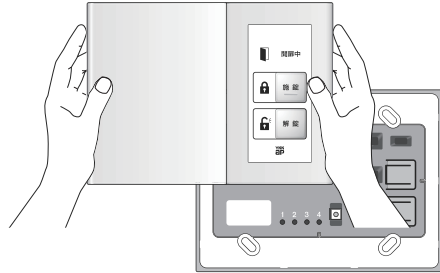
# ■ 警備システム連動機能の有効／無効設定と警備用電子キーの登録

警備会社の警備システムを導入している場合、ドアの錠の施錠／解錠操作と同時に警備会社の警備システムをセット／解除することができます。

この機能の有効／無効を設定することができます（工場出荷時は「無効」）

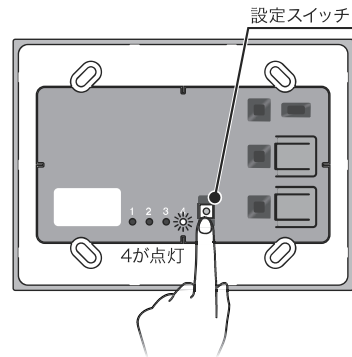
外部機器との配線が必要になります。配線がないと設定しても機能しませんので、ご注意ください。

## 1 操作盤付インターフェースユニットのカバーをはずす



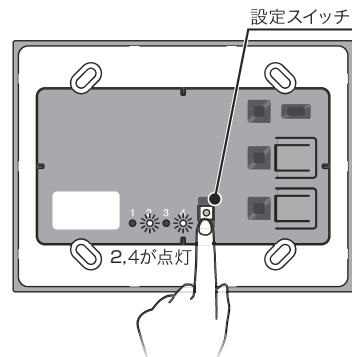
## 2 設定スイッチを、5秒押し続ける

設定ランプ4が点灯します



## 3 設定スイッチを4回押す

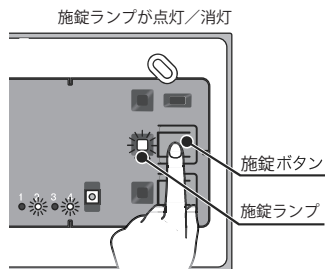
設定ランプ2、4が点灯します



## 4 操作盤付インターフェースユニットの施錠ボタンを押す

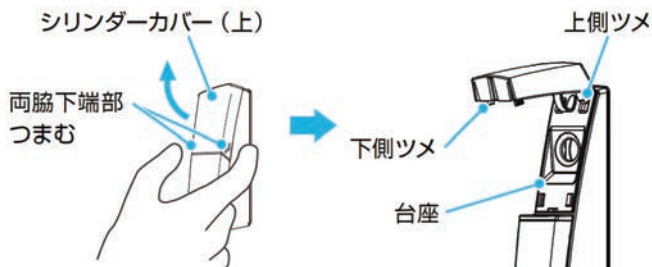
施錠ボタンを押す毎に、施錠ランプが点灯／消灯を繰り返します

- 有効にする場合  
施錠ランプを点灯させます
- 無効にする場合  
施錠ランプを消灯させます



## 5 警備用電子キーの登録を行なう場合は手順6に進む しない場合は手順10に進む

## 6 シリンダーカバー（上）の両脇下端部をつまみ、シリンダーカバーを開ける

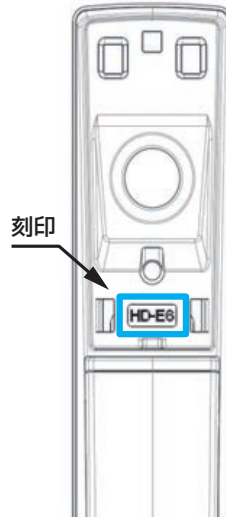


## 7 ハンドルの刻印の有無でスマートコントロールキーのシリーズを確認する

シリーズごとに登録できるキーの種類が異なります。

刻印無し・・・・・・・・・・P.28 手順8  
スマートコントロールキー  
(2012年4月～2021年10月まで販売)

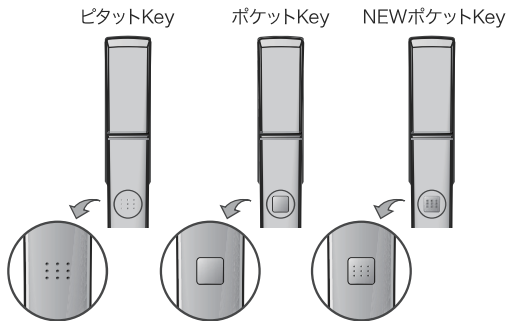
刻印有り・・・・・・・・・・P.30 手順9  
スマートコントロールキー  
(2021年10月以降販売)



## 8 スマートコントロールキー (2012年4月～2021年10月まで販売)の場合

### 4-1. ご使用の機器の確認

ハンドルの認証部にてご使用の機器  
を確認する



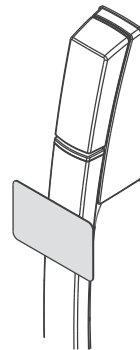
### 4-2. 警備用電子キーの登録

#### ■ビタットKey/NEW ポケットKey

①ハンドルの認証部に、未登録のカードキー/シールキーをかざす。

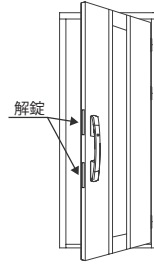
- 1個のみ登録できます。
- 登録失敗の場合、ハンドルのランプ(赤)が点灯し、ピーピーピーとなります。再度、手順①を行ってください。

②登録が成功した場合、手順10へ進んでください。

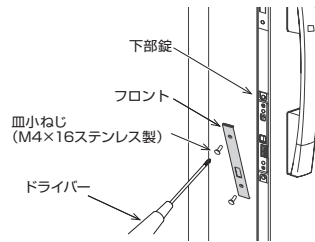


## ■ポケット Key

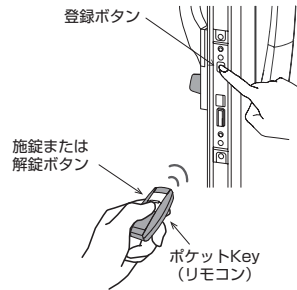
①解錠状態にしてドアを開ける



②下部錠のフロントのねじをはずし、フロントを取りはずす



③電気錠の登録ボタンを押しながら、未登録のリモコンキーの施錠または解錠ボタンを2回押す



- 1台のみ登録できます。
- 登録失敗の場合、ハンドルのランプ(赤)が点灯し、ピーピーピーとなります。再度、手順③を行ってください。

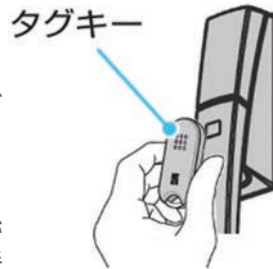
④登録が成功した場合、手順 10 へ進んでください。

## 9 スマートコントロールキー (2021年10月以降販売)の場合

### ■ピタットキー / ポケットキー

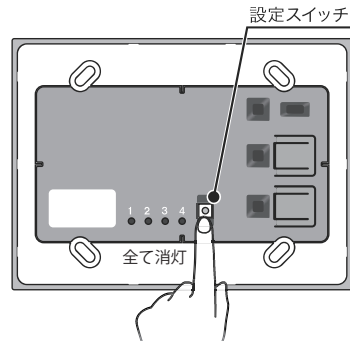
①ハンドルの認証部に、未登録のタグキーをかざす。

- 1個のみ登録できます。
- 登録失敗の場合、ハンドルのランプ(赤)が点灯し、ピーピーピーとなります。再度、手順①を行ってください。



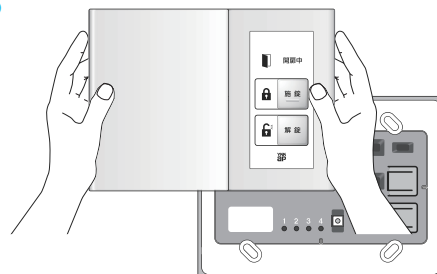
## 10 設定スイッチを9回押す

設定ランプが全て消えます。



## 11 登録した警備用電子キーで正しく 警備セット、解除するか確認する

## 12 操作盤付インターフェースユニット のカバーを取り付ける





## ■ 全解錠操作での警備解除設定

電子キーの解錠操作に加えて、他の電気的な解錠操作や手動での解錠操作で警備解除する設定。  
 (工場出荷時は「電子キーのみで解錠」)

### 1 「警備システム連動機能の有効／無効設定」の③まで操作する

設定ランプ2、4が点灯します

### 2 操作盤付インターフェースユニットの解錠ボタンを押す

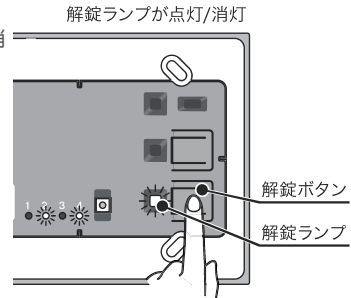
解錠ボタンを押す毎に、解錠ランプが点灯／消灯を繰り返します

- 全解錠操作で解錠する場合

解錠ランプを点灯させます

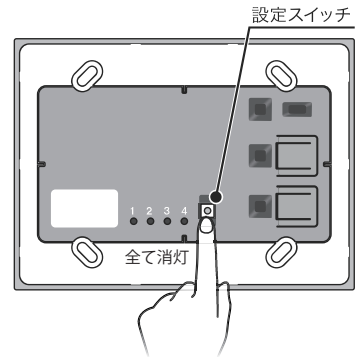
- 電子キーのみで解錠する場合

解錠ランプを消灯させます

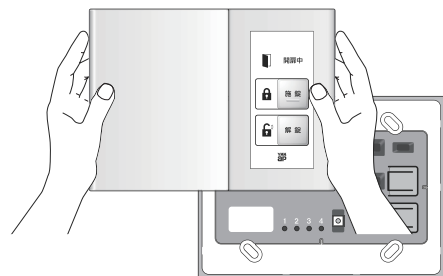


### 3 設定スイッチを9回押す

設定ランプが全て消灯します



### 4 操作盤付インターフェースユニットのカバーを取り付ける



## ■ 電子キー、警備用電子キーでの警備セット

操作盤付インターフェースユニットに接続された警備システムの警備セットを行います。  
スマートコントロールキーのシリーズによって、警備セットできるキーの種類が異なります。  
下記表を参照し、該当ページへ進んでください。

・スマートコントロールキーのシリーズの確認方法 (⇒P.26 手順6 ~P.27 手順7)

スマートコントロールキー (2012年4月～2021年10月まで販売)		
ピタット Key での警備セット		
カード・シールキー	P.33	
警備用電子キー (カード・シールキー)		
ポケット Key での警備セット		
ポケット Key(リモコン)	P.34	
警備用電子キー (ポケット Key(リモコン))		
NEW ポケット Key での警備セット		
カード・シールキー・楽天 Edy(カード / アプリ)	P.35	
ポケット Key(リモコン)		
警備用電子キー (カード・シールキー)		

スマートコントロールキー (2021年10月以降販売)		
タグキー	P.36	
リモコンキー		
警備用電子キー (タグキー)		

## スマートコントロールキー（2012年4月～2021年10月まで販売）

### ピタットKeyでの警備セット

#### カードキー／シールキー

---

**1** 解錠状態でドアを閉める

---

**2** ハンドル認証部にカードキー／シールキーを5秒かざす  
ピーと鳴り、警備がセットされます。

---

#### 警備用電子キー（カードキー／シールキー）

---

**1** ドアを閉め、施錠する

---

**2** ハンドル認証部にカードキー／シールキーをかざす  
ピーと鳴り、警備がセットされます。

---

## スマートコントロールキー（2012年4月～2021年10月まで販売）

### ポケットKeyでの警備セット

#### ポケットKey（リモコン）

---

**1** 解錠状態でドアを閉める

---

**2** リモコンを持ち、ハンドルのボタンを5秒間押し続ける  
施錠し、5秒後にピーーと鳴り、警備がセットされます。

---

#### 警備用電子キー（ポケットKey（リモコン））

---

**1** ドアを閉め、施錠する

---

**2** リモコンを持ち、ハンドルのボタンを押す  
ピーーと鳴り、警備がセットされます。

---

## スマートコントロールキー（2012年4月～2021年10月まで販売）

### NEW ポケットKey での警備セット

カードキー・シールキー・楽天Edy（カード/アプリ）

- 1 電気錠を解錠状態でドアを閉める
- 2 ハンドルの認証部に登録済み電子キーを5秒間かざし続ける  
施錠動作し、5秒後に“ピー”となり、警備セットされます。

ポケットKey（リモコン）

- 1 電気錠を解錠状態でドアを閉める
- 2 登録済みリモコンを持ち、ハンドルのボタンを5秒間押し続ける  
施錠動作し、5秒後に“ピー”となり、警備セットされます

警備用電子キー（カードキー/シールキー）

- 1 ドアを閉め、電気錠を施錠状態にする
- 2 ハンドルの認証部に登録済み電子キーをかざす  
“ピー”となり、警備セットされます

## スマートコントロールキー（2021年10月以降販売）

### タグキー

- 1 電気錠を解錠状態でドアを閉める
- 2 ハンドルの認証部に登録済みタグキーを5秒間かざし続ける  
施錠動作し、5秒後に“ピー”となり、警備セットされます。

### リモコンキー

- 1 電気錠を解錠状態でドアを閉める
- 2 登録済みリモコンを持ち、ハンドルのボタンを押す  
施錠動作し、5秒後に“ピー”となり、警備セットされます

### 警備用電子キー（タグキー）

- 1 ドアを閉め、電気錠を施錠状態にする
- 2 ハンドルの認証部に登録済みタグキーをかざす  
“ピー”となり、警備セットされます

## ■ 警備解除

電子キーによる解錠操作で警備解除できます。

全解除操作での警備解除の設定がされている場合は、手動を含む全ての解錠操作で警備が解除されます。

- ・全解錠操作での警備解除設定 (⇒P.31)

# 故障かなと思ったら

表の内容を確認しても正常に動作しない場合は、お取り扱いの建築会社、工務店、販売店、または当社お客様相談室にご相談ください。

現象	考えられる原因	対処方法
操作盤付インターフェースユニットの施錠／解錠／開扉ランプが点灯しない	停電などで製品に電源が供給されていない	ブレーカーや他の電化製品を確認してください
操作盤付インターフェースユニット、外部機器から施錠／解錠できない	ドアが完全に閉め切らない状態で操作したため、錠が途中で止まった	ドアがしっかり閉まっていることを確認してください。 その後、再度操作盤付インターフェースユニットから施解錠操作の確認をしてください
	操作盤付インターフェースユニット&増設操作盤の登録ができていない	操作盤付インターフェースユニット&増設操作盤の登録を行ってください。 ⇒ P.9
HA (JEM-A1) 機器 1 から施錠／解錠できない	HA (JEM-A1) 機器 1 の有効／無効設定が無効になっている	HA (JEM-A) 機器 1 の有効／無効設定を有効にしてください ⇒ P.14
HA (JEM-A1) 機器 1 から施錠はできるが解錠できない	HA (JEM-A1) 機器 1 の解錠可能設定が無効になっている	HA (JEM-A) 機器 1 の解錠可能設定を有効にしてください ⇒ P.16
HA (JEM-A2) 機器 2 から施錠／解錠できない	HA (JEM-A2) 機器 2 の有効／無効設定が無効になっている	HA (JEM-A) 機器 2 の有効／無効設定を有効にしてください ⇒ P.18
HA (JEM-A1) 機器 2 から施錠はできるが解錠できない	HA (JEM-A2) 機器 2 の解錠可能設定が無効になっている	HA (JEM-A) 機器 2 の解錠可能設定を有効にしてください ⇒ P.21
電気錠コントローラから施錠／解錠できない	電気錠コントローラの有効／無効設定が無効になっている	電気錠コントローラの有効／無効設定を有効にしてください ⇒ P.23
警備セットができない	警備連動機能設定が無効になっている	警備連動機能設定を有効にしてください ⇒ P.25
電子キーでの施解錠時、動作確認音がならない	施解錠時の動作確認音設定が無効になっている	施解錠時の動作確認音設定を有効にしてください ⇒ P.12



# 商品の保証について

商品保証とは当社の商品に関し、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に故障、損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生した場合には、まずお取り扱いの建築会社、工務店、販売店、または当社お客様相談室に修理をご依頼ください。

## ●対象商品

一般住宅用建材商品

## ●保証期間

建築会社よりの引き渡し日（注）から2年間（電装部品については1年間）。

ただし、商品からの雨水浸入については10年間。

（注）改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。分譲住宅（建売住宅）の場合は、建築主様への引き渡し日とします。

保証期間経過後の修理、交換などは有料といたします。

## ●保証内容

取扱説明書、本体ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する“免責事項”を除き無料修理いたします。

なお、強風雨時にサッシ下枠に雨水がたまることがあります。これは商品上の特性であり不具合ではありません。不具合といえる雨水浸入は、サッシ下枠をこえて室内に雨水が流れ出たり、あふれ出したりすることです。

- \* お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は当社お客様相談室にお問い合わせください。
- \* この商品保証は日本国内においてのみ適用されるものとし、日本国外に納品される商品については適用しないものとします。

修理依頼のご連絡にあたっては、次のことをご知らせください。

- (1) 商品名
- (2) 商品記号（商品に貼付している社名ラベルでご確認ください。）
- (3) お引き渡し日（お引き渡し日が不明の場合は、竣工日またはご入居日）
- (4) 工務店、建築会社名など
- (5) 破損箇所や不具合状態

## ●免責事項

保証期間内でも、次のような場合には有料修理となります。

- (1) 当社の手配によらない第三者の加工、組立、施工、管理、メンテナンスなどの不備に起因する不具合  
（例：海砂や急結材を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食、工事中の養生不良による変色や腐食など）
- (2) 表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取付けられた場合の不具合
- (3) 建築躯体の変形など商品以外に起因する商品の不具合  
（例：商品を取り付けている建物の柱などが変形すること等により発生する不具合）
- (4) 商品の日常の使用、機能に影響を及ぼさない部材、部品の経年変化や経年劣化  
（例：商品使用期間経過に伴う消耗、磨耗、キズ、褪色、さび、かびなど）
- (5) 商品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食などの不具合  
（例：塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガス、ガス給湯器の排気ガスなどが付着して起きる腐食。異常な高温、低温、多湿による不具合など）
- (6) 商品または部品の材料特性に伴う現象  
（例：木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、節抜け、樹液のにじみ出しなど）

- (7) 天災その他の不可抗力またはこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合  
(例：暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災、津波、噴火など)
- (8) 通常の生活条件下では予測することが不可能な現象、商品発売時点で実用化されている技術では予測することが不可能な現象、またはこれが原因で生じた不具合
- (9) 小動物や虫などの害による不具合  
(例：犬、猫、鳥、ねずみなどの噛みキズ、引掻きキズ等により発生する不具合)
- (10) 引き渡し後の操作誤り、調整不備または適切な維持管理を行わなかったことによる不具合  
(例：日常のお手入れを行わないこと等により発生する不具合)
- (11) お客様自身の組立、取付、修理、改造（必要部品の取外しを含む）に起因する不具合  
(例：複層ガラス表面にフィルムを貼ることや塗料を塗ること等により発生する不具合)
- (12) 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合または使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
- (13) 犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合  
(例：窃盗を目的に家に入るため商品を破壊すること等により発生する不具合)

## ●補修用部品の供給期間について

商品の機能を維持するために必要な補修用部品の最低供給期間は、当社における商品販売終了後 10 年間です。ただし、商品販売終了後 10 年に満たない場合でも補修用部品の供給が難しい場合は代替の商品を供給させていただくこともありますのでご了承ください。

※補修用部品には、商品の機能維持には問題のない範囲で色やデザインが異なる部品も含まれます。補修用部品に関してご不明の点がございましたら、当社お客様相談室にお問い合わせください。



# お客様メモ

■お問い合わせなどのために、記入しておくくと便利です。

お引き渡し日 (または入居日)	年 月 日
工務店・建築会社	社名 ----- TEL - -
販売店	社名 ----- TEL - -
商品名	

長期間、商品をご使用になりますと、ネジのゆるみ、ガタつきなどの不具合が発生することがあります。

そのままにしておきますと人身事故や、家財の損害などの原因になります。

対処方法が本書に掲載されていない不具合が発生した場合は、ご自分で修理せず、まずお取り扱いの建築会社、工務店、販売店、または当社お客様相談室にご相談ください。

## YKK AP株式会社

●表示内容は 2024年 6月 現在のものです。

ホームページ [www.ykkap.co.jp/](http://www.ykkap.co.jp/)

商品に関するご相談、お問い合わせは  
お客様相談室

受付時間 月～土 9:00～17:00

(日・祝日・年末年始・夏期休暇等を除く)

 0120-20-4134

●お問い合わせ、ご用命は……